



佐賀大学教職大学院 院生ライフレポート

理論と実践の往還をテーマに！

大学院の授業の多くは講義形式ではなく、院生の発表が中心となるグループワーク形式を取り入れた授業構成となっています。発表者は参考文献や資料にあたり、ポイントとなることについてパワーポイントにまとめ、伝えたいことを分かりやすく伝えるよう考えながら準備をします。授業では、発表を受けてグループ討議をします。発表内容に沿って現職教員がこれまでどう実践してきたか具体例を話したり、ストレートマスターがこれまで学んできた理論と結びつけて意見を述べたりしてより深い学びへと向かいます。これぞ、まさに教職大学院がテーマとする「理論と実践の往還」の一例です。

ジメジメした梅雨の時期ですが、教職大学院の研究室は、みんなのやる気と晴々とした笑顔でいっばいの1か月でした！

<授業紹介コーナー> 『子どもの学ぶ意欲の基礎と課題』 (木曜2限：大元誠教授・真子靖弘准教授)

この授業では子どもの学習意欲を高める方法論について学んでいます。今は、院生で毎回様々な方法について発表しています。回を重ねるごとに、発表にも創意工夫がみられました。右の写真は、「自己動機づけを高める方法」についての発表の様子です。「授業中」などの問題場面についてロールプレイング形式で発表しています。また、問題場面に対して各グループでどんな声かけをするかを話し合い、それを口頭発表したり、役割演技したりしました。ここでは、「金八先生」ならぬ「ばばばち先生」が登場し大変充実した活動となりました。



実際の授業に学ぶ：『授業づくりと学級経営の基礎と課題』(月曜3限：米田重和准教授・竜田徹准教授)

この授業では、授業づくりや学校経営について学びます。はじめは、ストレートマスターの発表を通して、Q-U 理論を中心にした学級経営の基礎理論その学び、その後、現職教員が自分の実践を何らかの理論と関係づけて発表しました。そして、6月からはいろいろな校種の授業参観をさせていただいて授業実践について学んでいます。6月17日：特別活動(附属中) 6月27日：特別活動(附属小)を参観しました。



6月お誕生会&親睦会

Mさん&Mさんの誕生会と「3か月とりあえずお疲れさま会!!」を開催しました。普段話せないようなあんなことやこんなことを話しつつも、熱く教育について語り合う場面も…。ストレートマスターは、通常の学生生活では学べない大人の社会も学ぶことができました!!現職教員は、若者達から残り1か月を乗り越えるパワーをもらいました。

